

令和元年度 群馬大学工業会東海連合支部 総会 議事録

日時 : 令和元年5月19日(日) 12時30分～13時15分
場所 : 名古屋 ニッタビルB1F 「スーパードライ名古屋」
御来賓 : 群馬大学工業会理事長 久米原宏之様 (S 4 2 M)
出席者 : 三浦連合支部長含め33名 (講演会の講師尾崎教授、ご来賓の久米原理事長含む)
(記録: 関口)

I. 総会・式次第

司会 関口副連合支部長兼岐阜支部長

1. 開会の辞 司会
2. 物故者への黙祷 司会
3. 連合支部長挨拶 三浦連合支部長
4. 御来賓挨拶 群馬大学工業会理事長 久米原宏之様 (S 4 2 W)
5. 審議・報告事項
 - (1) 平成30年度事業報告及び会計報告 事務局
 - (2) 令和元年度事業計画及び予算案 事務局
<報告事項の中で愛知支部関係の報告を行う。> 愛知支部事務局
 - (3) その他
6. 閉会の辞 司会

II. 議決事項

1. 平成30年度事業報告及び、会計報告 (配布資料参照)
2. 令和元年度事業計画及び予算案 (配布資料参照)
愛知支部関係の平成30年度会計報告、及び令和元年度予算案 (配布資料参照)
3. その他 なし。

上記1、2項は、一括して提案され、採決し、賛成多数で承認された。

III. 総会・式次第内容

1. 三浦連合支部長の挨拶 (要旨)
 - ・工業会本部から久米原理事長をお招きし。また和歌山支部、静岡支部など近隣の支部から参加頂いた。
 - ・総会を5月開催に変更して最初であり、年号も令和となった。東海連合支部は会員の親睦を目標に活動をしており、500名近くの会員に情報発信している。HPの掲示板を活用して広報活動を継続している。
 - ・尾崎教授との前夜祭は10名の参加があり、総会は平成の卒業生が6名参加してくれた。
 - ・若手の参加が少ない。女性会員の参加がないなどの問題点がある。
 - ・工業会100周年事業をきっかけとして、若手へ引き継いでいきたい。
2. 久米原理事長の挨拶 (要旨)
 - ・尾崎先生の講演は、世界に向けた研究内容であり、先生の活躍に期待したい。「工業会本部の現状や同窓記念館などの最新情報を中心に、ご挨拶を頂いた。」
 - ・工業会報の表紙などスタイルを一新した。業者を変え、見やすい会報をめざす。
 - ・会報は年1回に変更する。活字の情報発信から IoT に変えて行く。年1回配布を基本
 - ・6月29日 定時総会 栃木開催、皆さんの参加を望みます。
 - ・東海連合支部は、活動が活発、きめ細かい活動が継続している。

<最新情報>

- ・耐震構造の記念館に一新した。見学者の1/3は県外の方々である。活躍している先輩の実績を展示している。
- ・桐生支部の方々が、ボランティア活動で参加している。(延べ2400名) 母校の記念館を知ってもらう。・・・見学時に父兄に関心を持って貰う・・・高校生が興味を持って貰うのが狙い。
- ・横山記念基金の授与式や、9月卒業生の学位授与式を実施する。非常に荘厳な雰囲気である。

3. 審議・報告事項

- (1) 上記I-5-(1)と(2)項は、事務局清水氏より配布資料に基づいて懇切丁寧な報告と提案がなされた。出席者からの質問はなかった。
- (2) 退任・新任の役員は無し。
- (4) 「その他」の事項は無し。

4. 講演会・総会・懇親会要約 <別紙>

東海連合支部の令和元年度総会・講演会・懇親会は、令和元年5月19日(日)11時15分より、名古屋駅近くのニッパビルB1F「スーパードライ名古屋」において、尾崎純一群馬大学教授を講師にお招きし、久米原理事長様のご臨席を賜り盛大に開催された。

総会に先立ち「非白金触媒による燃料電池・炭(カーボン)で低炭素社会を！」の演題で尾崎教授から1時間にわたるご講演を頂いた。

冒頭、燃料電池の概要と構造から、何故燃料電池車が高価なのかを、分かりやすく説明された。故大谷杉郎先生の本流「炭素」の後継である尾崎研究室の開発した「ナノシェル含有カーボン」が白金以上の「電氣的触媒活性」を有している事を発見した。実用化を目指した小型燃料電池の説明など好奇心をそそる内容であり誠に時宜を得たご講演をして頂いた。

休憩後総会にうつり。三浦連合支部長から、前夜祭に平成年度の卒業生の参加や、和歌山、静岡等近隣支部からの参加紹介があった。若手や女性の参画など問題があるが、百周年事業に向け若手に引き継いでいくとの挨拶があった。ご来賓の久米原理事長様から、同窓記念館の利用に関する最新情報や工業会報の刷新などのご挨拶を頂いた。続いて、事業計画・決算・予算等審議・報告事項が事務局から提案があり、一括して採決し賛成多数で承認された。

総会終了後、全員で記念写真を撮影し、佐野三重副支部長、陰田幹事の司会で懇親会が開会した。梨本岐阜支部顧問(S29W)の乾杯の音頭により懇親の幕が切って降ろされた。恒例の3分間スピーチで和歌山、静岡支部からの参加者紹介や秦先生(H04M)の差し入れと挨拶があった。一層盛り上がった頃、三浦連合支部長の「アイン、ツヴァイ、ドライ」音頭で「関東八州」を全員が肩を組みながら歌い終わると、静岡の大先輩から「エール」の掛け声がかかり、久米原理事長の「腹の底から響き渡るフレー、フレー群大」でお開きとなった。次回また会えるのを楽しみに散会した。

以上



記念写真



関東八州・合唱